

### <事業者の概要>

1. 所在地：鳥取県東伯郡琴浦町大字37-1
2. 代表者：代表理事組合長 小前 孝夫
3. 主な品目：牛乳、成分調整乳、乳飲料、バター、生クリーム、粉乳、練乳、発酵乳、アイスクリーム、菓子等
4. 主な輸出先国・地域：香港、韓国、マカオ
5. 事業概要：鳥取県内の酪農家が出資した酪農専門の協同組合で、生産から処理・販売までを一貫体制で行う。酪農指導（乳質改善、技術指導）、牛乳、乳製品の開発、品質管理、販売（大山まきばみるくの里他営業所2店舗）



香港イオンで販売



白バラ牛乳 1ℓパック

### 【輸出の取組内容】

- 2015年から韓国へアイスクリーム等の輸出を開始。韓国のほかオーストラリアや東アジアへの輸出も展開し、特に韓国では「新世界百貨店（グループ）」「現代百貨店」等で、富裕層向けに「プレミアム感」をアピールし販売。オンライン販売も好調。
- 2023年7月「白バラ牛乳香港輸出プロジェクトコンソーシアム」を設立し、同10月には香港で「白バラ牛乳」の販売ライセンスを取得。2024年1月からプロモーションを実施。4月に香港へ「白バラ牛乳」の輸出を本格的に始め、セブンイレブンやイオン等日系店舗約340店で販売が展開され、高評価を得ている。

### 【取組経緯】

- 国内市場縮小、グローバル化が進む中、新たに海外販路開拓を目指して、2015年に韓国へ輸出を開始。
- 香港の実業家が鳥取を訪れた際、「白バラ牛乳」の美味しさをアピールし、高評価を得たことをきっかけに、香港への輸出を開始。

### 【課題と対応方法】

- 「白バラ牛乳」の品質保持  
→ 香港への「白バラ牛乳」の輸出は、輸送期間を加味し、賞味期限を1か月以上延長することが必須であったが、特殊パックを開発し利用することで、風味劣化を防ぎ、賞味期限の延長に成功。
- 「白バラ牛乳」の認知度向上  
→ 北海道ブランドが強い香港において「白バラ牛乳」は流通実績がないため認知度が低かったが、販売促進イベントの積極的開催や消費者ニーズを把握するためにアンケートを実施し、認知度が向上。

### 【今後の事業展開】

- ✓ 香港向けに「白バラ」ブランドを定着させ、「白バラ牛乳」の輸出を2024年の100t（見込み）から2027年までに550tに拡大を目指す。
- ✓ 韓国向けにアイスクリームやヨーグルト等の輸出を拡大するほか、東アジアや東南アジア向けに「白バラ牛乳」とアイスクリームをメインに輸出拡大を目指す。

### 【実績】

輸出額（百万円）		輸出国割合（%） 2023年	
2022年	23	香港	55
2023年	27	韓国	35
2024年	74 (見込み)	マカオ他	10